

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



中学生模擬議会を開催

9月定例会のあらまし

9月定例会は9月1日から10日間の会期で開催されました。
町長より議案11件、議員より発議案2件が提出され、審議した結果議案9件、発議案1件がそれぞれ原案のとおり可決されました。(決算に関する2議案は継続審査)
一般質問は11名の議員が、2日間にわたり行いました。



9月定例会

平成21年度各会計補正予算などを可決・・・P2

国営流域水質保全機能増進事業についてなど 行政報告・・・P4

町政を問う 議員11名が一般質問・・・P5～P11

一般会計補正予算など9議案可決



学校に新しいパソコンを導入し、情報教育に活用します

平成21年9月議会で可決された議案は次のとおりです。

◇特別職の職員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

プリミエール酒々井運営委員会の所掌事務を、社会教育委員会に統合し対応しようとするもので、当運営委員会を廃止するため、所要の改正をするものです。

◇酒々井町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

健康保険法施行令が改正され、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出生したときに支給する出産育児一時金について、4万円引き上げ42万円とするものです。

なお、今回の引き上げは一年半の暫定措置であることから、附則を改正するものです。

一般会計

◇一般会計補正予算(第4号)

補正の主な内容は、小中学校の地デジ対応テレビやパソコンの購入

等、IT環境整備事業、京成酒々井駅及びJR酒々井駅西口のバリアフリー化事業をはじめとする経済危機対策関係事業費、女性特有のがん検診の推進、また、高齢者に対する肺炎球菌予防のための助成に伴う経費、さらに、平成20年度決算額の確定に伴う一般会計・特別会計間の繰入れ・繰出し、個人町民税の見直し、普通交付税の確定に伴うものです。

特別会計

◇国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、歳出では後期高齢者支援金等並びに前期高齢者納付金等、保健事業費、基金積立金及び諸支出金を増額し、歳入では、財産収入、繰入金及び繰越金を増額するものです。

◇下水道事業特別会計補正予算(第2号)

補正の内容は、平成20年度会計が終了したことにより生じた剰余金、及び下岩橋地先の汚水マンホールポンプの交換に伴う工事請負費等です。

◇老人保健特別会計補正予算(第2号)

補正の内容は、平成20年度の医

療費に対する交付金の精算に伴い、歳入では、支払基金交付金及び国庫負担金、県負担金を増額、繰越金からは減額し、歳出では一般会計繰出金を増額するものです。

◇介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、平成20年度事業の確定に伴う補正、及び介護従事者処遇改善臨時特例基金の利子に関する補正、さらに介護給付費関係の補正で、歳出では保険給付費、基金積立金及び諸支出金を増額し、歳入では国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、財産収入、繰入金及び繰越金を増額するものです。

◇後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、平成20年度後期高齢者医療特別会計の精算に伴い、歳入では繰越金及び諸収入を増額し、歳出では納付金及び諸支出金、一般会計繰出金を増額するものです。

◇町道路線の認定及び廃止について

上岩橋地先、東酒々井地先において、2路線を認定、2路線(うち1路線は一部廃止)を廃止するものです。

【諮問】
○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

現人権擁護委員の星野建一郎委員が、平成21年12月31日をもって任期満了となることから、再任として推薦するにあたり意見を求められ、審議の結果、適任と決定されました。

【報告】
○一般会計予算継続費精算報告書について

平成18年度から継続事業となっていた「路線価付設・画地計算業務」について、事業が終了したので報告するものです。

○財政健全化判断比率及び資金不足比率について

「健全化判断比率」については、一般会計等を対象とした「実質赤字比率」と公営企業会計を含む「連結実質赤字比率」については、いずれも赤字額は無く該当がありません。

また、借入金の負担の程度を示す「実質公債費比率」については9・2パーセント、将来負担しなければならない債務の程度を示す「将来負担比率」は26・2パーセントといずれも早

期健全化の基準値を下回っていません。

さらに、「資金不足比率」については、赤字比率同様に資金不足額が無いので、該当がありません。

議員発議によるもの

◇千葉県庁における不正経理問題に関し情報公開と再発防止を求める意見書の提出について



議案・賛成討論(要旨)

齊藤博議員

(議案第7号)

賛成だが、1点だけ指摘したい。各課が報酬を伴う審議会を開く際には、審議事項があつて委員を招集するものと聞いていたが、今回の下水道事業運営審議会について、必ずしも付議事項はないということであつた。そういうことからいけば、全庁的な統一を参事、あるいは最終的には町長が図るべきではないか。

引地修一議員

(議案第5号)

賛成であるが指摘をしたい。南部の問題については、進捗状況に合わせて土地の取得、その他をやつて欲しいと再三指摘している。しかしこの議案を反対すると、子供たちのIT化の教育の機会の芽を摘んでしまわないかと危惧する。なおかつ、本来ならば国の補助などは、9月1日のニューしすいで町民に知らせる前に、我々議員に知らせる所で審議をしていくのが筋だと思ふ。議会のあり方、議会

の活性化のために議員にまず知らせていくということをきちんとやつていただきたい。

地福美枝子議員

(議案第5号)

意見を述べて賛成とする。私は一貫して現在都市再生機構が進めている開発には疑問を持っているが、この議案には子供たちの教育環境の整備ということ大きな額が入っている。自民党のばらまき政策だと思いつつ、これを逃してはなかなか整備がいかならうということもあり、賛成せざるを得ない。また、こういう予算があるということは、議会で説明してから広報に載せて欲しい。

議案・反対討論(要旨)

齊藤博議員

(議案第5号)

道路改良新設費465万3000円全額についてと、ICアセス道路の細目協定に基づく債務負担行為の設定がされていないことを理由に反対する。平成22年度から平成24年度までの費用負担を、債務負担行為とし

て現年の予算書に明記しなければならぬはずである。こういう一定のルールを正しく運用した上で議会の賛否を問う姿勢を望む。

平成21年度 補正予算額

(単位：千円)

会計名	補正前	9月補正額	補正後
一 一般会計	5,609,523	256,615	5,866,138
国民健康保険	1,938,805	23,253	1,962,058
下水道事業	383,196	2,732	385,928
人護保	7,286	2,799	10,085
高齢者医療	853,687	52,576	906,263
特別会計	124,195	2,340	126,535

町長より2件の行政報告がありました。(要旨)

酒々井ちびっこ天国プール事業の運営について

酒々井ちびっこ天国については、3年目の指定管理者制度による施設運営が実施されました。

開園日は38日間で、入園者数は、雷雨等の悪天候の影響で昨年度を825人下回る64,993人でした。

開園期間中は、大きな事故等もなく運営され、来園者の増加を図るため指定管理者による独自事業として「じゃんけん大会」や監視員による「レスキューデモンストラーション」のイベントなどが開催されました。

国営流域水質保全機能増進事業「印旛沼 期地区」について

8市町村にまたがる本地区は、印旛沼周辺に広がる受益面積5,002ヘクタールの水田地帯で水稲を中心とした営農を行っています。

現在、印旛沼周辺の水田を潤す農業用水や農地を洪水から守る排水施設は、これらの施設が完成してから既に40年が経過していることから、老朽化に伴う

機能低下や維持管理負担の増加、また用水の不足など様々な課題が生じています。

このような状況から、国営流域水質保全機能増進事業と関連事業により、農業用排水施設の改修と併せて水質保全を図り、農業経営の安定及び近代化を進めるこの事業については、本年3月の土地改良区総代会において、平成22年度着工の推進要望決議が全会一致で採択されています。

国営事業とその事業と一体的に整備が必要な関連事業(同時施工)の事業計画については、地元負担などの課題があります。が、概ね関係市町村は了承しています。

酒々井町では、3会場で説明会が開催され、事業概要、営農計画などの説明、意向確認が実施されました。

今後、印旛沼地区農業農村整備事業推進協議会総会開催までに、更に個別農家説明を行い意向確認をすることとしており、現時点では、土地改良法の法手続きを準拠し、土地改良区組合員の賛同を得て進めることとされています。

議案と議決結果 (町長提出のもの)

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果
1	特別職の職員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 ○
2	酒々井町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決 ◎
3	平成20年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会	閉会中の継続審査
4	平成20年度酒々井町水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会	閉会中の継続審査
5	平成21年度酒々井町一般会計補正予算(第4号)	※	原案可決 ○
6	平成21年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	教育民生	原案可決 ◎
7	平成21年度酒々井町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	経済建設	原案可決 ◎
8	平成21年度酒々井町老人保健特別会計補正予算(第2号)	教育民生	原案可決 ◎
9	平成21年度酒々井町介護保険特別会計補正予算(第1号)	教育民生	原案可決 ◎
10	平成21年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	教育民生	原案可決 ◎
11	町道路線の認定及び廃止について	経済建設	原案可決 ◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。(※)は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

発議案と議決結果 (議員提出のもの)

番号	件名	提出者	本会議の議決結果
1	酒々井町住民投票条例の制定について	齊藤 博 議員 他1名	原案否決 ×
2	千葉県庁における不正経理問題に関し情報公開と再発防止を求める意見書の提出について	岩澤 正 議員 他7名	原案可決 ○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

町の考え

そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

9月定例会の一般質問は、9日と10日の2日間に11名の議員が、町長の政治姿勢、中川治水対策など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。9月定例会の会議録は、12月上旬以降、閲覧することができます。

問 町長選、再出馬の意思について

答 引き続き町政運営に精魂を傾けて努力したい

御園生 浩士 議員

問 本年12月に町長の任期が満了となるが、再出馬の意思について伺う。

町長 子どもには夢を、青年には希望を、壮年には輝きを、高齢者には安全安心を届けていきたい。したがって、議会をはじめ町民皆様方のご支援、ご支持が得られるならば、町民の負託にこたえるため引き続き町政運営に精魂を傾けて努力したいと考えている。

町の防災について

問 ① 台風9号接近による水害対策について、町はどのように対処されたのか伺う。

② 中川地先において、水の被害が出ることを町は理解しているのに、対処できないのは人災と思うが見解を伺う。

町長 ① 担当課職員が参集し、中川のパトロール、情報等に関する収集対応や必要箇所土のうを設置した。

② 護岸の嵩上げ、内水排除ポンプの設置工事は実施したが、緊急対策として調節池の整備を一日も早く実施し、高齢者等災害弱者の生活の安全を守る上でも、一定レベルの治水安全度を確

保することは行政に課せられた責務である。

政府与党のマニフェストについて

問 国民にとって非常に喜ばしい方針がたくさんあるが、町として「子育て支援」や「福祉関係の支援事業」について、反映させたい方針はあるのか伺う。

町長 少子化の一因になっている、子育てに伴う経済負担が軽減されるものと期待しており、具体的に実施する法律等を調査検討し、必要な対応をしたい。また、福祉関係では様々なマニフェストが出されており、町にとって有利な補助事業があれば、積極的に活用したいと考えている。



びよびよクラスの様子
(子育て支援事業)

問 町民が取り組むことができる地球温暖化対策の周知を

答 環境家計簿を作成し、町民意識の高揚に努めたい

平澤 昭敏 議員

問 ① 「地球温暖化対策の推進に関する法律」により、自治体にも温暖化防止のための実行計画策定が求められている。事業所等の協力以外にも、町民が取り組むことができる具体的な方法等の周知も必要と思うが、これまでの町の取り組みについて伺う。

② 本年度作成予定のゴミ処理マニュアルの中で、環境に対する取り組みを案内できる「環境マニュアル」という様な形で、ゴミ処理方法だけでなく、温暖化効果ガス削減の方法についても掲載すれば、経費削減も図れると思いつ提案するが、町の考えを伺う。

担当参事 ① 町の実行計画は、本年度中に作成予定であるが、町民が地球温暖化防止対策に取り組むことができるように家庭でできる環境家計簿も併せて作成し、町ホームページや広報紙に掲載等を行い、より一層の町民意識の高揚に努めていきたい。

生活環境課長 ② 「環境マニュアル」は大変有意義であると考え、限られたページ数の中ではあるが、温室効果ガス削減に取り組める方法等、町民に分

かりやすいマニュアルにしていきたい。

町道と都市公園の維持管理について

問 ① 町道の舗装の亀裂、劣化、歩道の穴など目につく箇所が多々あるが、今後の町道の維持管理について伺う。

② 都市公園を調査したところ、除草されていない所や柵の塗装が必要な所等があった。子供たちが安心して使えるよう要望する。また、本佐倉の「ひばり公園」では近所の方の除草作業により綺麗になっている。そこで、公園の除草作業を自治会等をお願いしてみてはどうかと思うが、町の考えを伺う。

町長 ② 財源の遣り繰りで公園の維持補修を行っているのが現状であるが、今後も計画的に維持補修に努めていきたい。「ひばり公園」のように地域に根付いた公園もあることから、今後も自治会等の一層のご協力を頂くべく、その啓発に努めていきたいと考えている。

まちづくり課長 ① 計画的に維持補修を実施しているが、劣化の速度と追い駆けっこしているのが現状である。国の補助事業や町予算を効果的に活用し、適切な維持管理に努めていきたい。

り、適切な維持管理に努めていきたい。

問 オリックス不動産が進出しなくてもアクセス道路は作るのか

答 アクセス道路延長線上にある墨工業団地への企業進出の効果が見込める

引地 修一 議員

問 ① 酒々井ICとアクセス道路用地の買収状況について伺う。

② 都市再生機構（UR）とオリックス不動産の進捗状況について伺う。

③ 仮にオリックス不動産が南部地区へ進出しなくても、4車線330メートルのアクセス道路は造るのか。

④ 東名高速が大雨により崩落したのが、アクセス道路の盛土工法では崩落の危険性についてどう考えているのか。

町長 ② 土地譲渡契約の締結に向けた協議を継続し、本年12月末までに契約を締結したいとURから聞いている。

③ 当町の観光・交通拠点、産業拠点など新たな展開による地域活性化等、今後のまちづくりに必要不可欠な重要路線であり、インターチェンジ事業と合わせた完成を目指していく。

④ 盛土の設計では、道路基準により地震時等における安定検討を行っている。また、古来より信頼性のある工法で、他の構造物に比べて復旧が比較的容易で施工性に優れている利点がある。

担当参事 ① 県事業で約85%、町事業で約97%となっている。

中川調節池について

問 洪水ハザードマップの作成状況について伺う。

町長 ① 7月末に委託業者と契約し、現在は基礎資料となるデータの収集整理を行うとともに、検討委員会への検討資料の作成を行っている。

社会福祉協議会について

問 ① ふれ愛タクシーの費用を除いて、社会福祉協議会には、町から3,700万円から3,900万円（年間）の補助金が出ているが、その内、社会福祉協議会職員の人件費はどれ位か。

② 社会福祉協議会の現在の剰余金はいか程になっているのか伺う。

③ 剰余金は、どうして発生するのか。また、剰余金はどうするのか伺う。

担当参事 ① 平成20年度決算で、補助金に対する割合は88・2%である。

② 平成20年度末で、社会福祉振興基金として5千52万5,195円ある。

③ サービス対象者の変動等や寄付金等の増加に伴い、剰余金が生じた。剰余金の一部は各種事業に充当し、他は緊急時の補填財源として確保している。

問 コミュニティプラザの新たな設備充実及び運営見直しについて

答 NPOや民間企業等の多種多様なノウハウを活かすなどを検討

原 義明 議員

問 昭和62年設立のコミュニティプラザも設備の劣化が生じてきており、時代のニーズに合った設備や高齢社会向けの更なる利便性推進の為、運営見直しの時代が来たと考え次の点を伺う。

- ① 最近の利用状況について伺う。
- ② 2階大浴場を1階ピロティー部分に移設する意向の見解を伺う。
- ③ 多目的ホール利用者の為に、シャワー併用ロッカールーム設置の見解を伺う。
- ④ 第3期基本計画にハーブガーデンとコミュニティプラザの一体化を推進とある。その推進状況について伺う。

町長 ② 2階の浴場を1階のピロティーへ移設する提案は貴重であり、施設等の老朽化を勘案し検討する。

④ NPOや民間企業等の多種多様なノウハウを活かすなどを検討しており、ハーブガーデン運営協議会とも意見交換しながら検討する。

産業課長 ① 昨年度は月平均約3、

600人で、今年度は7月末現在、月平均約4、000人となっている。

③ 現在の施設規模では、設置されて

いるお風呂を利用されることが望ましい。ロッカールームについては、利用者の要望等を踏まえ検討したい。

ふれ愛タクシーの有効利用について

問 ふれ愛タクシーも定着してきているが、高齢社会や住民ニーズの変化に対応する行政も時代に即し、住民目線に合った住民サービスの提供は重要と考える。そこで、ふれ愛タクシーを日中のみ、役場、プリミエール、駅、コミュニティ等町内のピンポイント場所をセレクトし、循環活用を図る事は町内アクセスの利便性が向上し、少子高齢社会にやさしいだけでなく、観光面や定住人口増加へのメリットも有り得ると考え、町の見解を伺う。

町長 自宅から目的地までの乗合方式によるタクシーとして、平成20年度は述べ15、875人が利用された。なお、成田赤十字病院、北総病院へ午前2回、午後2回運行しており、現在の4台での運行台数では、循環運行は厳しい状況である。利用者の声を聞きながら運行委員会の中で検討し、改善できるものについては改善していきたい。

問 新型インフルエンザ対策を伺う

答 マスクや消毒液の備蓄、リーフレットの全戸配布等により感染防止に努める

篠田 誠 議員

問 ① 新型インフルエンザ対策として、町におけるマスク等の備蓄状況について伺う。

② 今後、さらなる流行が考えられるが、町としての追加対策を伺う。また、保育園や小中学校への対策を伺う。

町長 ① 町では、サージカルマスク2万4千枚、消毒液33リットルを備蓄しており、消毒液については、役場等の主要施設に配置し、引き続き新型インフルエンザ対策に努めていきたい。

② 新型インフルエンザに加え、季節性インフルエンザも同時流行することが危惧されており、手洗い、マスクの着用等を励行することにより、高い予防効果が期待でき、感染防止にもつながることから、リーフレットの全戸配布等により、一層の周知を図っていく。

教育長 ② 教育委員会としては、児童・生徒には手洗い等の励行、症状が出た場合のマスクの着用や外出の自粛などの指導を行っている。また感染者がでた場合は状況により学級閉鎖等の対応を行う。保育園については、保護者の仕事等の関係もあるので、休園は

考えていないが、集団的に感染が拡大した場合には休園も検討する。

中川治水対策について

問 ① 東酒々井、ふじき野、中央台の全戸及び公共用地に浸透枡を入れた場合、前回の洪水時の雨量の何%位の受け皿になるのか。また、予算規模はどれくらいになるのか伺う。

② 上郷地域の水田を緊急時の遊水池と考え、中川のJ R橋梁部に堰を設けて、流出量を調整すれば、池の予算は大幅に減少できると考えるが如何か。

町長 ① 仮の条件で試算すると約23㎡/秒相当の対策量が見込まれるが、貯留浸透施設のみでは効果に限界があり、河川施設整備と合わせて実施すべきである。また、これらの事業費は、調節池整備の2倍程度になる。

② 計画している調節池と同程度の治水容量を水田に湛水させると、水深が確保できないことから、貯留範囲が広範囲に拡散することとなり、近隣家屋等の低地部の浸水防対策も必要となる。また、農作物への被害補償等、実現には多大な課題がある。

問 中川の内水対策を早急に実施すべき

答 逆流弁は4箇所設置したが、冠水箇所があったので対応する

齊藤 博 議員

問 8月10日の集中豪雨の際、トケ崎地先の一部の道路が冠水した。地元から要望している内水対策を早急に実施すべきだし、京成線下流の河道嵩上げも必要だと考えるが如何か。

町長 逆流防止弁は4箇所設置したが、排水管からの逆流により、町道の冠水があり対応する。京成橋梁上流区間の護岸嵩上げに起因して、その分の流量が増大することはなく、京成線下流の水位が従前より上昇することはない。

南部開発事業について

問 南部開発事業は計画どおりに進まず、ICアクセス道路だけが24年度完了予定として変更された。事業費20億円とされていた町道尾上飯積線も25年度からとなったが、その必要性について町長の考えがグラグラしている。当初計画はどうなるのか伺う。

町長 地域の生活道路として必要な路線であり、当面の対策として道路用地を利用した現道拡幅と歩道等の交通安全対策を進める。南部対策としては、都市再生整備計画で全体像を示した中で、土地利用の状況等を含め、必要に

応じて実施するものと考えている。

保育園の整備について

問 保育園の待機児童が30人を超えているが、子育て世代の潜在的な要望はもっと多いと思う。中央保育園の老朽化も進んでおり、早急に保育園の整備が必要だと思うが、整備方針を伺う。

町長 厚生労働省の基準により、待機児童は14人であるが、10月以降、特例で保育園の受入れ制限がなくなることから、多くの児童を受け入れたい。

財政見通しについて

問 昨年の「財政見直し」の後、南部開発事業の大部分が先送りされる等「自立プロジェクト」が変更された。また、介護サービスや医療費の増大が想定されるのに昨年は触れていない。本年度の財政見直しについての基本的な成方針を伺う。

町長 効率的な財政運営によって財政基盤の安定化を図り、総合計画に位置づけられた事業を基本として、ハード面だけでなく将来を見通したソフト面での事業とも併せて進め、住民サービスの向上に努める。

問 商業施設で賑わう国道沿線に

答 制限があるが、方策を県と協議したい

川島 邦彦 議員

問 ① 基幹道路である国道51号及び国道296号の沿道全線は商業施設等が誘致可能な用途地域とすることが望ましいのではないか。

② 南部開発地域と結ばれる国道296号から国道51号に合流する計画はあるか。また、用途地域指定による沿道活用の考えを伺う。

③ 観光名所等の資源を活かすため、本佐倉城跡への道路・遊歩道の確保など、総合的な整備計画を伺う。

④ 成田空港のポテンシャル等を活かし、とりわけ若年層を意識した人口拡大計画を伺う。

町長 ① 国道51号沿線は、殆どの商業施設は、道路端から奥行制限25mの区域で立地可能な地域である。しかしこの区域を広げると周辺住居環境に影響を及ぼす恐れがあるので、何らかの方策がないか県と協議していきたい。

② 南部開発地域や酒々井ICの利用促進のためにも、両国道を連結する町道の道路機能の向上を図り、将来的には、県道宗吾酒々井線まで広域的にネットワークさせたい。今後は総合計

画等に位置づけて計画を策定したい。

③ 旧296号から根古谷の館付近までの道路整備費を平成22年度予算に盛り込みたいと思っている。

④ 若い層の方々に酒々井に移り住んで頂けるようなまちづくりを進めていくことは大変重要と考えている。

担当参事 ① 国道296号沿線では、制約等のもと開発許可がなされており、商業施設の立地には、現行の用途地域でも可能である。

印旛沼国営事業と関連事業について

問 ① 酒々井町の主要な事業内容、概算費用及び農家の負担等を伺う。

② 本事業を捉え農地の面的集積化、農業法人等による担い手不足の受け皿づくりに取り組みべきではないか。

町長 ① 町関連事業として2箇所の水路整備がある。農家負担については、土地改良区では、1反歩あたり年1千円（15回）以内の負担としている。

② 県、農業委員会、各関係機関等と連携して対応していく。

産業課長 ① 概算費用については、負担協議が整っていない状況である。

問 JR酒々井駅駐輪場への管理人配置を

答 現在はボランティアの協力を経ているが、今後は検討していきたい

佐藤 修一 議員

問 JR酒々井駅の駐輪場について、現在はJRの所有地を利用した駐輪場が設けられているが、昨年までは放置自転車100台単位で無造作に置き去りにされていた。その後、警告書の貼り付けや移動等がなされ、駐輪場の整理はされたが、今もなお、持ち主のわからない自転車が放置されているのが現状である。

そこで次の点について伺う。

① JR酒々井駅駐輪場は、朝の時間帯には、自転車が道路にはみ出す等混雑状態である。朝の時間帯だけでも管理人を配置するなどの対策が必要とと思うが町の考えを伺う。

② 町内の放置自転車の処分状況及び酒々井リサイクルセンターに送られる放置自転車数について伺う。

③ 排気ガス対策、健康増進対策として、リサイクル自転車を使って、役場、駅、郵便局等の公共施設間及びスーパー、銀行間を乗り継ぐ等の施策をボランティア団体の協力を得て検討してみていると思うが町の考えを伺う。

町長 ③ ボランティア団体等に働き

かけをし、話し合いを進めてく。

まちづくり課長 ① ボランティアの

方が駐輪場内の整理や駐輪場以外に放置されている自転車の移動を行っている状況であるが、人員配置については、今後その方策について、十分検討していきたい。

② 平成20年度において、7月に調査票貼付けなどの調査を行い、その結果JR酒々井駅、京成酒々井駅の駐輪場その他住民からの通報によって町有地に放置されていた自転車等318台を撤去した。その後、佐倉警察署への所有者照会を行い、所有者が判明した自転車を除く自転車については、告示から90日を経た時点で処分対象となるが、腐食が進んでいる自転車が多いため全て廃棄処分とした。その後12月にも再度同様の調査を行った結果113台の自転車を清掃組合に無償譲渡を行い、本年9月も同様の手続を経て132台の自転車の無償譲渡を行ったところである。

問 小坂町政4年間の総括を

答 厳しい財政の中でも各種施策を行った

地福美枝子 議員

問 小坂町政4年間について伺う。

① 4年前、町長として行政を任せられた。いくつかの選挙公約に基づき、現在町長自身どのような総括をされているのか。教育民生常任委員の立場として、主に暮らし、福祉、教育、医療などの分野について伺う。

② この4年間、町民の暮らしに対して、どのようなことを主に重点を置いてきたのか伺う。

③ 町民の暮らしを守る立場で、国に対して、意見、要請をすることについてどのように考えているのか伺う。

④ この間、こども課や住民協働課など新しい課を設置した。このことによつて、どのような利点、または課題が生まれたのか伺う。

町長 ① 財政力に乏しい中で、この4年間の町政運営は大変厳しいものであったが、地方債残高を12億円減らし、貯金も1億円積み立てることができた。このような中でも、町内小学校への学童保育の開設、保育料の減額、保育時間の延長、乳幼児医療費助成では町独自の施策として所得制限を導入せずに子育て

支援の拡充、健康ひろばの開設等を実施した。

② 保健、福祉分野等、心と身体の健康づくりを中心に、地域が支える「支え合い・助け合うまちづくり」に取り組むとともに「高齢化社会を迎えても持続可能な地域づくり・町づくり」を進めるべく各種施策に取り組んできた。

③ 地方が抱える大きな課題等については、全国町村会等を通じ、組織的に国や県に対して要望をしている。今後も国や県に対しては、機会を捉え、効果を考慮しながら提案や要望をしたいと考えている。

④ こども課は、これまで福祉課、健康課、教育委員会が担当していた事務を集約することにより、一本化され町民の利便性向上等につながった。住民協働課は、住民と行政が一体となったまちづくり等のために設置したが、住民活動団体の交流会等を通じ、徐々にであるが、住民の積極的な活動が見られるようになった。今後も住民と行政がより良い関係でまちづくりが進められるように努力していきたい。

問 小学校屋内運動場改築工事管理業務委託はなぜ随意契約か

答 設計業務を実施した(株)千都建築設計事務所と契約した

竹尾 忠雄 議員

問 設計、本体工事は一般競争入札で契約されたが、管理業務契約は随意契約で締結された。なぜ競争入札を行わなかったのか理由を伺う。

こども課長 設計図書の内容を熟知し一貫した技術判断ができることなど、設計業務を実施した(株)千都建築設計事務所と契約した。

歩道の拡幅工事について

問 京成宗吾参道駅東口からちびっこ天国へ向う町道の歩道拡幅工事(ちびっこ天国ゲートから入口までの380m)、現況1.5mの歩道を、1.5m分の用地を京成電鉄から買収し、3mの歩道が完成した。しかし既設の電柱や町の防災無線の柱が10本以上あるが、移設しないで工事が行われたため、歩道の真中に柱があるので、安心して歩行できない状況である。なぜ工事前に電柱等を移設しなかったのか伺う。1,348万円もかけた拡幅事業、住民の立場から見れば適切な完成品とは言えないと思うが、町長の見解を伺う。

町長 歩道だけではなく車道も狭いとの要望があり、先ずは坂道で見通しの

悪い所から少しでも、一歩ずつ改善していく。

まちづくり課長 特にちびっこ天国の開園時には歩行者が増え、車道に溢れ危険な現状であり、夕暮れ時など不審者の目撃、被害等が報告されている。そこで、ちびっこ天国の開園に合わせるため工事を進めた。電柱の移設は東電と協議中である。

中川水害対策について

問 8月10日の豪雨は平成16年の集中豪雨以来で、中川の水位も危険水位を超える状況であった。私も現地を見たが内水対策の重要性をあらためて感じた。町長は現地を見てどのように実感されたのか伺う。

町長 昨今のゲリラ豪雨等の発生状況を踏まえると、同程度の降雨が頻繁に発生する可能性を肌で感じると同時に、内水対策の必要性を現場で検証することができた。従って、中川上流部に洪水調整機能を持たせることにより、中川本川水位の低下を図ることが、内水被害軽減対策の面でも総合的に一番有効な手段であると再認識した。

問 町長の政治姿勢について

答 強靱な耐力を持っている町は、町民にとって自主施策ができる町

岩澤 正 議員

問 町長は、この4年間町民の暮らしを守るためにどの様な事をしてきたのか。また、その成果について伺う。

① 地元商工業者について、町ではどのような施策を行ったのか。

② 農業について、町長は「米価が安ければ消費者が喜ぶ。必要なのは補助金でなく自由である」と。生産の自由、販売の自由。」などと答弁してきたが、農業を守るために何をしてきたのか。

③ 南部開発について、財源確保、地域経済の活性化、雇用の創出のため、社会資本の整備だとして既に2億1千万円を使っているが、10年先どの様な町になると考えてきたのか。

町長 ① 減収の著しい商工業者に対し、金融機関を通じて資金融資を行い、貸付金に対しての利子補給により金利負担を軽減した。また、商工会には補助金を交付し、支援している。

② 農道や排水などの「生産基盤の整備」「担い手の問題」「耕作放棄地対策」「酒々井米のブランド化」や「農産物物流推進」などに取り組んできた。

③ 土地区画整理事業が進めば固定資

産税が上がってくる。強靱な耐力を持つている町は、町民にとって自主施策ができる町と考えている。

地域経済活性化について

問 ① 経済危機の状況の中で、小規模事業登録制度、住宅リフォーム、住宅耐震化助成などを提案してきたが、地元商工業者を守る施策について、どのような検討をしているのか。

② 平成21年産米価も下落している。「しすいの水より安い」、生産意欲を高める施策について、どの様な検討をしているのか。

町長 ① 国で定めた「経済危機対策」及び県の6月補正事業を踏まえた「総合経済対策」に打ち出された施策交付金を活用し、地域活性化事業に取り組んでいる。

② 町では水田農業推進協議会を組織し、消費者重視・市場重視の考え方に立ち、農業経営の安定など関係機関の協力を得ながら、安全で美味しいお米の「生産」「販売」「流通」「酒々井米のブランド化」「消費者の開拓」などを推進している。

その他の質問

平澤 昭敏 議員

- ・女性特有のがん検診の無料クーポンと出産育児一時金の拡充について

齊藤 博 議員

- ・公共施設の活用状況について

佐藤 修二 議員

- ・中川治水対策について
- ・町民体育館について

平成20年度 各会計決算の状況

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		
	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出	
一 般 会 計	5,282,324	5,087,157	5,198,749	5,034,799	
国民健康保険特別会計	1,896,184	1,843,104	1,924,957	1,915,321	
下水道事業特別会計	335,101	324,311	377,438	374,140	
老人保健特別会計	120,865	120,865	1,030,701	1,003,441	
介護保険特別会計	835,444	780,993	796,496	760,746	
後期高齢者医療特別会計	114,884	112,594	0	0	
水道事業計	収益的収入及び支出	472,557	409,477	492,978	418,310
	資本的収入及び支出	107,897	162,661	112,314	180,933

決算に関する2議案は決算審査特別委員会を設置し、継続審査とすることになりました

◆平成20年度酒々井町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定
 ◆平成20年度酒々井町水道事業会計決算の認定

9月定例会に上程された決算関係の2議案は、6名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

なお、委員の構成は次のとおりです。

- ◎委員長 原 義明
 ○副委員長 竹尾 忠雄
 委員 川島 邦彦
 委員 佐藤 修二
 委員 高崎 長雄
 委員 岩澤 正
- 審査状況については、次号でお知らせします。



決算審査特別委員会

中学生模擬議会を 開催しました

10月14日、酒々井中学校3年生の代表者14名の中学生議員による、第4回中学生模擬議会が開催されました。

普段町に対して思っていることや考えていることを、中学生の視点から一般質問を行い、通学路の安全整備や、新型インフルエンザ対策についてなど、中学生議員の皆さんが日頃から疑問に感じている、まさに実体験に基づく質問で、私たち大人がおおいに耳を傾け、参考としなければならぬ内容のものでした。



議員自治研修会に参加

10月30日(金)、本埜ふれあいプラザ(本埜村)において、印旛郡町村議会議長会主催による印旛郡町村議会議員自治研修会が開催されました。

印旛郡内3町村の議員が一同に集まり研修が行われ、社団法人日本河川協会むしあけがみ虫明功臣会長より『「水環境」の視点からとらえた印旛沼の現状と課題』と題し、印旛沼流域水循環健全化会議の発足と背景、活動内容、また、印旛沼流域水循環健全化計画(マスタープラン)の策定に向けて講演がありました。

日本河川協会 虫明功臣会長



選挙管理委員会委員 及び補充員の選挙

任期満了に伴い選挙を行った結果、次のとおり委員4名、補充員2名が決まりました。

選挙管理委員会委員

- 福田 孝男氏 (上岩橋)
- 高崎 輝夫氏 (墨)
- 越川 勝氏 (本佐倉)
- 岡 恭子氏 (東酒々井)
- 選挙管理委員会委員補充員
- 安田 文雄氏 (馬橋)
- 小林 静江氏 (東酒々井)

12月定例会の お知らせ

次の定例会は12月中旬に開催する予定となっております。

会期の概要は、12月7日の議会運営委員会で決まります。会期などについては、議会運営委員会の開催日以降、議会事務局までお問い合わせください。

なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせしていきますのでご覧ください。

皆様の傍聴をお待ちしています。

詳しくは議会事務局まで。

☎ 496・1171
(内線251、252)